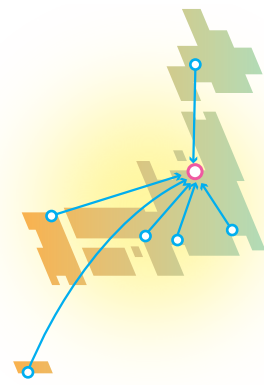
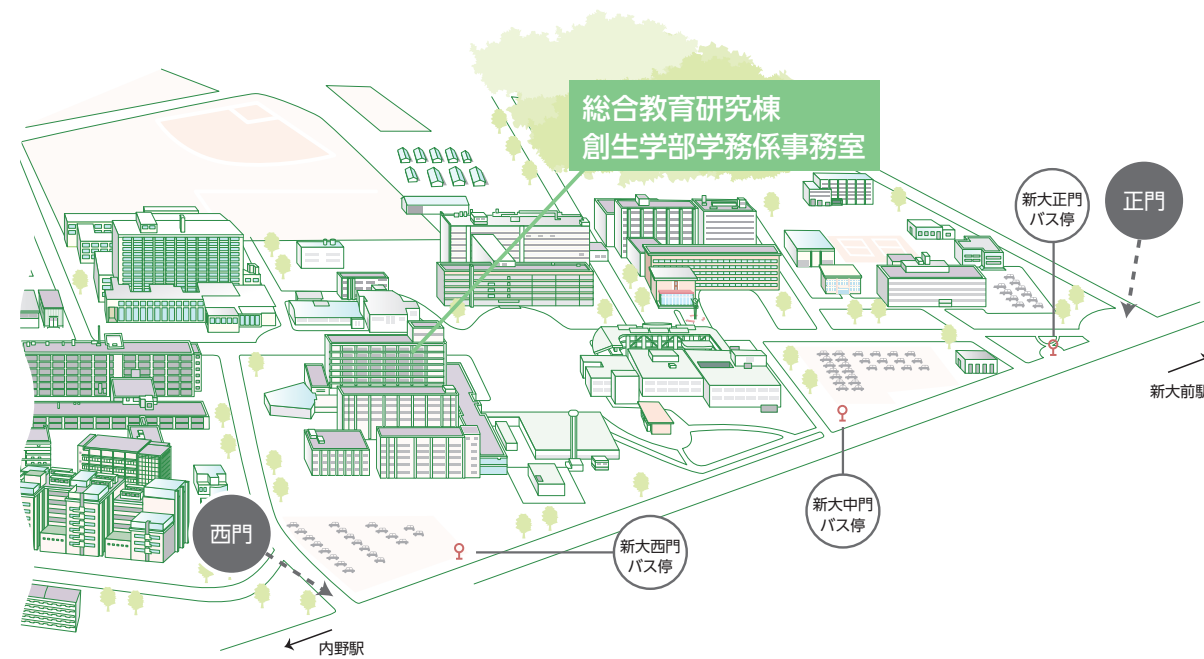
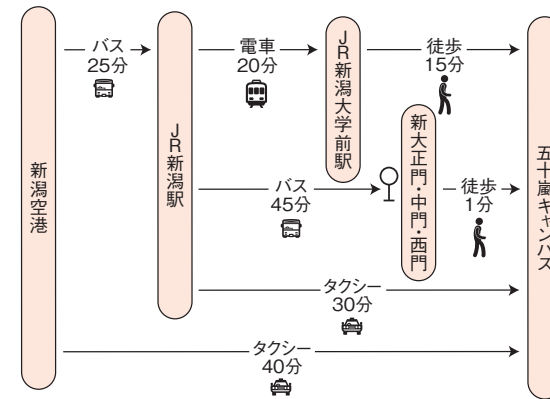


アクセス



札幌	飛行機	75分
名古屋	飛行機	60分
大阪	飛行機	60分
福岡	飛行機	100分
沖縄	飛行機	145分
東京	新幹線	100分
	高速道路	4時間

新潟市



創生学部 学修室

大型モニター等、遠隔授業にも対応した環境が整っています。



創生学部PBL THEATRE※ (PBLシアター)

高度な課題解決型学修 (Project-Based Learning: PBL) を可能にする、さまざまなデータを可視化して客観的な議論を行うための教育設備が整っています。

※英式表記



新潟大学創生学部

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL 025(262)6998 (創生学部学務係)

学部ホームページ <https://create.niigata-u.ac.jp>

2022年4月発行



(学部ホームページQRコード)

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

創生学部

COLLEGE OF CREATIVE STUDIES, NIIGATA UNIVERSITY

2023 創生学部
創生学修課程

学びを創り、
未来を生む。



自らの未来を
自らの意志で創りたい人
募集します。

新潟大学創生学部は、
科学技術や社会の課題発見・課題解決の学修を中心に、
学生一人ひとりが自身の目標を定め、自分に合った学びを創っていく、
「理系文系の区別がない学部」です。

自分に合った分野科目で受験できますが、
入学後はその分野にとらわれることなく、
自分の興味と自分のキャリアを考えて目標を定め、
課題や専門領域を選んで学修できます。

創生学部での学びは、すべてあなたの意志によって創り出されていきます。

この学生中心の学びの中で
科学技術の革新や社会の変革を牽引する人材として必要な
事象・課題を多面的に見る力や
専門分野が異なる人と協働する力が確実に身につきます。

このまったく新しい学修スタイルで
自らの未来を、自らの意志で創りたい人、募集します。

求める 学生像

課題探究・解決に関心を持ち、将来のキャリアを自ら見つけることに熱意のある人

特定分野にとらわれない幅広い領域に興味関心を有し、基礎的な学力のある人

他者とのコミュニケーションを積極的に行い、自己表現ができる人

学部長あいさつ

自分を創る、学びの場

創生学部は、「自分を創る」ための学びの場です。

創生学部が他の学部と違うところは、入学後に新潟大学の中の多様な分野を一望して、そして、自分なりの目標を立てた上で、その後に専門分野を選ぶところです。新潟大学で開講されているたくさんの講義に実際に触れてから、自分の専門性を選ぶ点が大きな利点です。また、同じ学部はもちろんのこと、他学部の様々に異なる分野の学生同士で議論を交わして、自らの問いを大きく広げていきます。

つまり、自分の選んだ専門分野を学びながら、他の分野の人と協働して総合的に課題を解決する力を養うことができます。与えられるのではなく、自分に合った学びを自分で創って行くので、目標をしっかりと意識して、充実した学修ができる仕組みです。異なる分野の人たちと、協力して、時に議論を戦わせ、大きな問いを結び合わせていくための「知の広場」がここに 있습니다。コミュニケーションを積み重ねる楽しさと喜びが、きっと得られることでしょう。

創生学部で、自分の未来を形作るチャレンジをしてみませんか。様々な専門性を持った私たち教員が、皆さんの進む道をしっかりサポートします。



創生学部長
中村 隆志

卒業生の声

小澤 友紀 新潟県出身

化学システム工学領域学修科目パッケージ

進学先 北海道大学大学院工学院
環境創生工学専攻



Q：創生学部への入学のきっかけは？

A：工学の化学に関する専門知識だけでなく、さらに他分野の学問も学修できるという点で魅力的だと感じ、工学部ではなく創生学部に入学することを決めました。

Q：入学後、力を入れたことは？

A：1年後期から2年前期にかけて、工学部の研究室にうかがい、廃水処理技術や微生物燃料電池の技術について学修し模擬実験を行っていました。

Q：今後どのような研究を行いますか？

A：廃水処理と発電を同時に行うことができる微生物燃料電池という技術の研究を行う予定です。

石塚 隼人 山形県出身

経営学領域学修科目パッケージ

就職先 (株)TBSグロウディア



Q：創生学部への入学のきっかけは？

A：高校時代にはメディア文化と経営の分野の二つに興味を持っており、どちらの分野も大学では学んでいきたいと思っていました。そこで、創生学部であれば学部の壁を超えて自分の興味関心にあった学修が出来ると思い、入学したいと思いました。

Q：入学後、力を入れたことは？

A：高校時代は学ぶ機会がなかった経営学の勉強に力を入れました。経済の基礎を学び、経営の仕組みや戦略など学修したことにより、就職活動で経営についての論文試験が出た際にも根拠をつけて論じることができたため、実践的な経営学の知識が身についたと感じました。

Q：今後の夢は？

A：今後の夢は、働いていく中で、今まで経験してきたことや知識をアウトプットし、日本のメディア関連企業になるための力になりたいと思っています。

主な進路先 (2022年3月現在)

〔就職〕

関東農政局／新潟県庁／新潟労働局／富山県庁

東日本旅客鉄道(株)／(株)TBSグロウディア／三機工業(株)／NTTアドバンステクノロジ(株)／明治安田生命(相)／清水建設(株)／(株)ワールドインテック／(株)マイナビ／(株)ニトリ／大東建託パートナーズ(株)／東洋水産(株)／新潟県労働金庫／(株)アデランス

〔進学〕

北海道大学大学院工学院環境創生工学専攻／奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科情報科学領域／中央大学法科大学院法学既修者（2年コース）／新潟大学大学院自然科学研究科環境科学専攻／新潟大学大学院現代社会文化研究科現代文化専攻

躍動する学び

創生学部は、定められた一つの学問分野を軸に学んでいく従来の学部とは異なり、学生一人ひとりが自分で目標を設定し、課題や専門 領域を選んで学んでいく、まったく新しい教育プログラムです。

「課題発見・課題解決能力」(リテラシー) の育成を重視したカリキュラム

【4年間のカリキュラム】

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	▶ものごとに挑戦する姿勢を育てる		▶学び続ける習慣をつくる		▶グローバルに活躍するための語学力を習得する		▶課題を分析するためのデータ処理の方法を学ぶ		▶自ら選択した専門領域を深める		▶課題を把握し分析する技術を身につける		▶課題解決のための実践力を強化する			
	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
導入・転換 教育科目	スタディスキルズ (大学学習法)	フィールドスタディーズ (学外学修)	学修する目的の確認と学外学修などを活用した意識転換を行い、主体的に学修する態度・姿勢を養います。いずれも1年次に履修する必修科目です。													
	リフレクション デザインⅠ															
	リテラシー基礎 社会における種々の課題理解															
	基礎ゼミⅠ・Ⅱ (1、2年生合同)															
基礎科目	情報処理・データ分析		データサイエンス概説	国際理解リテラシー	リテラシーコア・課題解決実践科目や領域学修科目を学ぶ上で必要となる基礎を身につけるための科目です。											
			アカデミック英語入門R・L													
リテラシーコア・ 課題解決実践科目	課題把握、分析解決能力などの汎用的能力涵養のための科目と、自分の強みを伸長させるインテンシブな英語学習、数的感覚を養成する科目、プロジェクト参加型学修などで課題解決を実践的に行う科目が含まれています。		データサイエンス実践またはP.A.C.E. (実践英語の集中学修)													
			リテラシー応用 課題発見把握中心のPBL												リフレクションデザインⅣ 学修の総括と学位申請準備	
			基礎ゼミⅢ・Ⅳ (1、2年生合同)						プロジェクトゼミⅠ・Ⅱ						ソリューションラボⅠ・Ⅱ 卒業研究相当	
専門分野の学修	リフレクションデザインⅡ 領域学修科目群への導入	領域概説 領域（学部）と課題の理解	領域学修科目 選択した領域学修科目パッケージから、40単位（20科目程度）以上を履修・専門領域の学修													
	リフレクションデザインⅢ 領域学修と社会的課題との関係整理															
自由選択科目	フィールドスタディーズコーディネート、地域・国際 交流A、地域・国際交流B、データサイエンス概説演習															
	新 潟 大 学 が 提 供 す る 多 様 な 科 目															

主な授業科目 (視野を広げ、現代を学ぶ科目)

「基礎ゼミ」(1～2年次)

創生学部では、1年次から4年次まで少人数のゼミ形式の授業を履修します。「基礎ゼミ」は、1～2年次必修の授業で、ゼミの中で学年を縦断したグループを組み、課題把握等の演習を行います。ゼミでは、取り上げる課題の設定や、アプローチする方法も、自分たちで考えます。周りの人と積極的にコミュニケーションをとりながら、課題解決の流れを実践的に学んでいきます。



「データサイエンス」(1～2年次)

社会課題の把握・解決策の提案のためには、客観的根拠となるデータを読み解くセンスが重要です。「データサイエンス」では、データ分析の理論と実践を統計学の基礎から学びます。また、人文・社会科学系および自然科学系の分野における、質的・量的データの活用や、具体的な事例を通して実践的に学ぶことで、多様な観点で社会課題をとらえる情報リテラシーを高めます。



「P.A.C.E. (Program for Academic and Communicative English)」(2年次)

「P.A.C.E.」は、特に海外での活躍を希望する学生向けのネイティブ教員による英語の授業です。グローバル人材を育成するための新しい実践英語教育プログラムとして開設されており、少人数での授業を通して「使える英語」の獲得を目指します。英語によるプレゼンテーションスキルや論文の書き方など実践的な英語を学ぶことができます。



フィールドスタディーズ

フィールドスタディーズは、1年次の第2ターム(6月～8月)に実施する、企業や自治体など、学外のフィールドに出て行き、グループで活動を行う授業です。グループごとに現場の方々のサポートを得ながら課題を発見し、学生主体の企画や提案の一連のプロセスによって、社会の課題を体感し、大学での学修意識の転換を図ります。授業は学外で行う4週程度のフィールドワークのほか、学内で行う事前・事後学修によって構成されています。



文部科学省インターンシップ表彰制度 最優秀賞受賞

令和元年度文部科学省インターンシップ表彰制度において、全国58の高等教育機関の取組みの中で、創生学部「フィールドスタディーズ(学外学修)」が最優秀賞を受賞しました。選考委員会所見では、「教育課程における位置づけやねらいが明確である、(中略)受入先企業等にとっても有益となるプログラムを設計することで、教育的効果の高いインターンシップへの理解醸成と、継続的な受入先の確保という好循環を生み出している」と評価されました。



受け入れ機関一覧 (2021年度)

株式会社当間高原リゾート／一正蒲鉾株式会社／株式会社エヌ・シー・エス／株式会社コメリ／株式会社たかだ／ツインバード工業株式会社／燕市／長岡市／新潟県立自然科学館／新潟県労働金庫／新潟市／一般社団法人農村振興センターみつげ／福田道路株式会社／株式会社モザイクワーク

領域学修科目パッケージ

「21の領域学修科目パッケージ」から自分にあった専門分野を選択

創生学部では、学生は2年次になると、新潟大学の理・工・農・人文・法・経済科学の各学部が提供する「領域学修科目パッケージ（専門授業科目群）」の中から、自分の関心や取り組む課題に合わせて専門領域を一つ選択します。

「領域学修科目パッケージ」内の授業は、当該パッケージを提供している学部で開講されているものです。そのため、たとえば工学部のパッケージを選択した場合は、工学部の学生と一緒に専門的な内容を学修していくことになります。

領域学修科目パッケージ

※各学部の改組に伴い領域学修科目パッケージが変更になる場合があります。

理学部	工学部	農学部	人文学部	法学部	経済科学部
数学	機械システム工学	生物資源科学・流域環境学	社会文化学	法学	経済学
物理学	社会基盤工学	応用生命科学・食品科学	言語文化学		経営学
化学	電子情報通信		心理・人間・メディア表現文化学		
生物学	知能情報システム				
地質科学	化学システム工学				
自然環境科学	材料科学				
	建築学				

知能情報システム

科目名

データ構造とアルゴリズム
プログラミングA I
コンピュータネットワーク
形式言語とオートマトン
コンピュータアーキテクチャ
人工知能基礎
信号処理
情報理論
制御工学
データ工学
アシティブ・テクノロジー
電気回路
数理論理学
ネットワーク工学
数値計算プログラミング

応用生命科学・食品科学

科目名

基礎農林学実習
微生物学
遺伝子工学
土壌学概論
食品化学
植物細胞工学
細胞分子生物学
植物環境応答学
応用微生物学
分子微生物学
酵素化学
植物バイオマス利用科学
花卉園芸学
畜産食品製造学
食品・農業情報工学

科目例

※年度により変更になる場合があります。

経営学

科目名

経営学概論Ⅰ・Ⅱ
簿記入門
企業分析入門
人的資源管理論
経営情報システムⅠ・Ⅱ
租税理論Ⅰ・Ⅱ
国際会計論
地方財政論Ⅰ・Ⅱ
NPO論
ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ
マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ
経営財務論Ⅰ・Ⅱ
経営組織論Ⅰ・Ⅱ
経営戦略論Ⅰ・Ⅱ
管理会計論Ⅰ・Ⅱ

法学

科目名

リーガル・システム
憲法Ⅰ（人権各論）
民法Ⅰ（民法総則）
刑法Ⅰ（刑法総論Ⅰ）
政治学Ⅰ（政治制度論）
会社法Ⅰ（総論・機関）
民事訴訟法Ⅰ（総論）
刑事訴訟法Ⅰ（刑事手続総説・捜査法）
行政法Ⅰ（行政法総論）
行政学Ⅰ（総論）
租税法Ⅰ（所得税法）
労働法Ⅰ（個別的労働法）
情報法Ⅰ（法情報学）
経済法Ⅰ（競争の実質的制限禁止）
国際法

心理・人間・メディア表現文化学

科目名

西洋哲学史概説A
情報メディア論概説A
学習・言語心理学
社会・集団・家族心理学
産業・組織心理学
哲学研究A
人間学古典研究
科学思想史
宗教思想史A
メディア文化論A
映像社会論A
芸術表現論
映像文化論
知覚・認知心理学B
発達心理学



プロジェクトゼミ・ソリューションラボ

プロジェクトゼミは3年次、ソリューションラボは4年次に履修します。2年間かけ、教員の指導のもと、自分と異なる分野を専門とする学生とも議論し、課題解決プロジェクトを遂行する、他の学部の卒業研究・卒業論文に相当する授業です。一つの課題に取り組み、成果をまとめる経験を通して、課題解決に必要な企画力や実践力などを身につけます。

○学生の研究テーマ例

- 深層学習を用いた物体検知による画像検索
- 遺伝情報発現に関する生体分子の構造・機能研究、および遺伝情報発現を制御する抗生物質の開発研究
- オントロジーと物体検知を用いた画像の状況分析
- AI化された社会における労働の意味や価値の変化について
- 地域での再生可能エネルギーの導入拡大の現状
- 自動探譜機能の実装と加工前音源と加工後音源の周波数特徴の比較検討
- 大学居室内CO2濃度の測定と、音声による注意喚起システムの作製と運用
- 次世代自動車の普及から考える地方都市における二酸化炭素排出量削減について

- 家庭の食品ロス削減に向けた教育的アプローチの効果検証
- メディアを活用した地域店舗の効果的な宣伝に関する事例研究
- 地域の財政と法制度（ふるさと納税、クラウドファンディング、暗号資産とICO）
- 大都市圏への人口移動を阻止する方策としての「故郷税」の構想
- 発達障害にかんする大学生の理解促進に資する情報発信の方法
- 地域包括ケアシステムの展開と新たな病院ガバナンスの可能性に関する研究
- eスポーツ領域における日本の音楽ゲームの市場成長に向けた施策提案—eスポーツ先進国5カ国のPEST分析から検討する—
- キャリア形成理論の構築と、社会におけるキャリア形成の実践的仕組み作り
- アイドルに対するファン心理の変化—疑似的人間関係の構築と分析—

渡邊ゼミ

当ゼミ・ラボでは、「生涯学習」をテーマにゼミ・ラボ生個人が自由に設定した研究内容についてゼミ・ラボ全体で共有し、議論することで、学びを深めています。

私たちは生まれてから今までの生涯の中で、家庭や学校、職場、地域社会などにおいて、様々な学習機会に出会い、学習の機会を広げています。生涯学習とは、私たちが自由に学習機会を選択でき、一人ひとりの生きていく姿そのものに深く関わるものなのです。

当ゼミ・ラボには法、人文、経済、農学といった、様々な学問領域で学ぶ学生が集まっており、研究内容も個人で全く異なります。しかし、自分の学ぶ学問領域とは関わりが無くとも、ゼミ・ラボ全体で議論することで、新たな学びの機会を得ることができ、他者との交流を通じて主体的に学ぶ姿勢を養うことができます。まさに、学問分野にとられない創生学部らしい学びを体現することができます。

みなさんも「生涯学習」をテーマに新たな学びの機会に触れてみてはいかがでしょうか。



澤邊ゼミ

当ゼミでは、人材育成に関わる諸課題をテーマに、学生が当事者意識をもって課題をとらえ、その課題の改善を目指し、フィールド「と共に」研究（アクションリサーチ）することを大切にしています。

プロジェクトゼミ（3年）では、学生の関心のあるテーマに応じたフィールド（地域、学校、自治体、産業、他学生）と関わりながらプロジェクト（例：地域商店街の番組作り、農業体験、日中学生交流ツアー）を企画し、異なる専門領域を学ぶ学生と協働しながら実践します。プロジェクト実践を通して、予測困難で複雑化した社会にも適応できる「企画力」「実行力」「調整能力」の獲得を目指します。

ソリューションラボ（4年）では、学生の探究課題に沿って研究を進めます。例えば「家庭の食品ロス削減に向けた教育的アプローチの効果検証」「人口減少社会における若者の地域参加・地域貢献を促す取組の検証」等、多様な探究課題に取り組んでいます。



ま な び
未来を拓く専門性を

創生学部には、他の学部と異なり多様なバックグラウンドを持つ教員が所属しています。もちろん、創生学部での学修は、教員の専門には限定されません。新潟大学全体の資源を活用しながら、一人ひとりが創るオーダーメイド学修で幅広い専門性を身につけ、課題解決能力を修得します。

教員名	専門分野	教員名	専門分野
熊野英和	電子デバイス・量子物理・情報通信学	堀籠 崇	経営学
向山恭一	政治学	小山翔子	宇宙物理学・天文学
佐藤 靖	科学技術史・科学技術政策	砂野 唯	地域文化研究
田中一裕	教育学・教育工学	大竹憲邦	植物栄養学・土壌肥科学
渡邊洋子	成人教育学・生涯学習論・社会教育学	田中幸弘	法学（民法・金融法・消費者法）
内田 健	社会学	中村隆志	情報メディア論・コミュニケーション論
小路晋作	生態学	藤巻一男	公法学
澤邊 潤	教育工学・教育心理学	村松正吾	情報学・電気電子工学
並川 努	心理学	伊東孝祐	構造生物化学・分子生物学

※令和4年4月1日現在

模擬講義

QRコードを読み取ると、模擬講義（動画）が視聴できます。

▶「やってみよう！」を支援する教育システムのデザイン



澤邊 潤 准教授



▶現代社会のリスクにどう対応するか？－科学と政策決定－



佐藤 靖 教授



▶金は命より重い！？ ～医療経営学とは～



堀籠 崇 准教授



▶電波干渉計で探る巨大ブラックホール周辺の姿



小山 翔子 助教



▶生き物の力を生かす「打たれ強い農業」とは



小路 晋作 准教授



▶神秘の「光の粒」で安全な通信？



熊野 英和 教授



入試情報

創生学部では、一般選抜（前期日程）及び総合型選抜を実施します。入試情報の詳細は、創生学部ホームページをご覧ください。

学部	課程	入学定員	募集人員		
			一般選抜	総合型選抜	
			前期日程	理系科目選択型 (概ねの募集人員)	文系科目選択型 (概ねの募集人員)
創生学部	創生学修課程	65 人	45 人	10 人	10 人

一般選抜（前期日程）

区分	大学入学共通テスト利用教科・科目		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
理系型	国数	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1 〔5教科7科目〕	外国数	英（コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ）必須 国語総合（古文・漢文を除く）・現代文B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1	共通テスト	100	(100)	(100)	200	200	150	750
	理外				個別学力検査	(200)			(200)		200	400
	地歴・公民				計	100 (200)	(100)	(100)	200 (200)	200	350	1150
文系型	国数	国語 必須 数Ⅰ、数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ・数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 〔物基、化基、生基、地基から2〕又は 〔物、化、生、地学から1〕 英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理Bから1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から1 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は 〔6教科7科目もしくは8科目〕	外国数	英（コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ）必須 国語総合（古文・漢文を除く）・現代文B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1	共通テスト	200	100 (100)	(100)	100	100	150	750
	理外				個別学力検査	(200)			(200)		200	400
	地歴・公民				計	200 (200)	100 (100)	(100)	100 (200)	100	350	1150

総合型選抜

区分	大学入学共通テスト利用教科・科目		本学が実施する試験等	試験の区分	大学入学共通テスト						本学が実施する試験等			配点合計
	教科	科目名等			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	課題レポート	面接	書類審査	
理系科目選択型	外数	英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ・数A 必須	講義に関する課題レポート	共通テスト				100 (100)	(100) (100)	200				500
	数理	数Ⅱ・数B 物、化、生、地学 } から2 〔3教科4科目〕	面接 書類審査	本学が実施する試験等							400 (200×2課題)	200 書類審査含む	○	600
				計				100 (100)	(100) (100)	200	400	200	○	1100
文系科目選択型	外数	英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ・数A 必須	講義に関する課題レポート	共通テスト	(100)	(100) (100)	(100)	100		200				500
	国地歴・公民	国語 世B、日B、地理Bから1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から1 } から2 〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕	面接 書類審査	本学が実施する試験等							400 (200×2課題)	200 書類審査含む	○	600
				計	(100)	(100) (100)	(100)	100		200	400	200	○	1100

創生学部では、幅広い領域への興味関心、論理的思考、科学的根拠に基づいた課題探究・解決に必要な基礎学力や意欲、表現力、コミュニケーション能力をはかり、またこれまでに行ってきた各種活動への主体的な取り組みとの接続性を高める観点から、令和3年度入学選抜から、自己推薦で受験できる総合型選抜を導入しました。

総合型選抜では、入学選抜を、本学が実施する試験等と大学入学共通テストの結果および出願書類を総合して行います。



学生の声



法学領域科目パッケージ
2年
福島県出身
星 健斗

高校時代から文系の科目も理系の科目もどちらも好きで、文理選択に非常に悩んだ思い出があります。そのため大学は文理の枠に捉われない学部を志してきました。創生学部は、私のような思いを持っている人にピッタリの学部です。

現在、私は創生学部特有の授業「フィールドスタディーズ」「基礎ゼミ」「領域概説」や、自由選択科目の授業を受講するなかで、現代社会にはどのような課題が存在しており、またそうした課題に対してどのような解決方法を採用し、その解決方法にはどんな弱点があるのか、などについて学んでいます。そして、その学びから自分が身に付けるべき学問分野は何か、を模索しています。

創生学部での学生生活を通して、スキル、思考力、意識の面で成長することは確実だと思います。皆さんも創生学部で学んでみませんか？



言語文化学領域科目パッケージ
3年
新潟県出身
山内 雪音

私は創生学部入学時、自分は何に興味があるのかがよく分からない状況でした。だからこそ、創生学部に入りました。創生学部では特定の分野にとらわれず、様々な学問分野を学びます。様々な学問分野を学ぶため、私は自分に興味のあることを見つけることができました。また、2年生になっても様々な学問分野を学びます。私はそこで新たに興味が湧くものに会い、段々と将来やりたいことが具体的に見えてきました。現時点で多くの人は、自分は何がやりたいのかははっきり決まっていな人も多と思います。創生学部での様々な学びを通して、自分のやりたい事がきっと見つかります。もちろん、現時点でやりたい事が決まっている人は、創生学部での学びを通して、自分のやりたいことを多角的に経験する事ができます。やりたい事がある人も、分からない人も、新たな自分に出会える場所になっています。



心理・人間・メディア表現文化学
領域科目パッケージ 4年
福島県出身
菊地 友希乃

みなさんは創生学部どんなイメージを持っているでしょうか。文系も理系も勉強できる学部？社会で活躍する人材を育成する学部？1年生のフィールドスタディーズが楽しそうな学部？どれも正解です。でも私はあえて一言で創生学部を表すなら「色々な分野の先生とお話できる面白い学部」だと感じています。

他の学部では、自分が学ぶ分野の先生からはたくさん学ぶことができますが、専攻分野外の先生の話聞く機会は少なくなってしまいます。創生学部なら人文学、経済学、法学、理学、工学、農学、様々な分野の先生の知見を学ぶことができます。

また創生学部には、学生に親身になって話を聞いてくれる先生方がたくさんいます。あなたが創生学部生になったら、ぜひ先生に一言声をかけてみてください。先生と話すのは少し緊張するかもしれませんが、すぐに打ち解けていろいろな話することができます、と先生方全員とお話した私が保証します。

私の時間割



創生学修課程
重野 光哉



1年生 後期(第3ターム)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1			アカデミック英語入門 R	アカデミック英語入門 L	
2	情報機器操作入門		スタートアップエコシステム入門	情報機器操作入門	
3		データサイエンス総論I	領域概説 D (法学)	領域概説 E (工学)	
4		データサイエンス概説/データサイエンス基礎	領域概説 D (法学)	領域概説 E (工学)	データサイエンス概説/データサイエンス基礎
5					基礎ゼミⅡ



言語文化学領域学修科目パッケージ
堀川 優有里



2年生 後期(第3ターム)

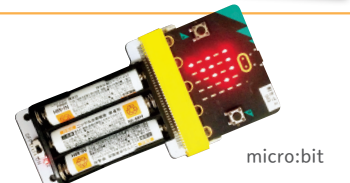
	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	リテラシー応用 E				
2	リテラシー応用 E		朝鮮語ベーシックⅡ		
3		朝鮮語ベーシックⅡ	英米言語文化基礎演習 B	朝鮮語ベーシックⅡ	
4		日本語文化基礎演習 B	健康と医学	英米文化概説 B	日本語文化実習 B
5				P.A.C.E. (Presentation Skills)	基礎ゼミⅣ

オンラインイベント

2021年度 オンラインで以下のイベントを実施しました。

- 新潟大学オープンキャンパス：令和3年8月10日(火)・11日(水)
- 創生学部オンライン学部説明会：第1回 令和3年6月26日(土)／第2回 令和3年7月17日(土)／第3回 令和3年9月18日(土)
- 創生学部オンライン基礎ゼミ体験：第1回 令和3年6月21日(月)～7月12日(月)(全4回)「AIのしくみと社会的影響」第2回 令和3年8月17日(火)～20日(金)(全4回)「micro:bitで人工知能を動かそう！」

2022年度もオンラインで多くのイベント開催予定です。
創生学部webでご案内します。



Q & A

Q 創生学部では何を学び、どんな力が身につきますか？

A 創生学部では、一つの学問分野にとらわれず、学生が自ら定めた目標に従って主体的に学びます。変革が激しく、前例が通用しない時代を生き抜くためには、学問の枠はもちろん、文理の枠をも越えて多様な分野に通じ、どんな環境変化にも怯まず、活きた知と柔軟な論理的思考を武器に社会の課題に立ち向かえる、真の力が必要です。創生学部では、基軸となる専門性に加え、こうしたこれからの社会を生きるうえで欠かせない能力を、データサイエンス、プロジェクトゼミ、ソリューションラボ、また1年次から独自に実施する学外学修等の多彩なプログラムを通じて修得します。

Q 入学時には、何か取り組みたい課題やテーマが決まっていけないのでしょうか？

A 特に決まっている必要はありません。ただし、受け身で与えられた課題をこなせばよいという意識ではなく、いろいろなことに関心を持ち、自分から積極的に動いて学んで行くという意識は、持っていていただけると良いと思います。入学時にまだ明確に決まっていなくても、さまざまな課題やテーマに触れることができるような授業を1年次から履修しますので、その中で自分が取り組む課題などを見つけていくことになります。

Q 一般選抜(前期日程)の理系型・文系型は、それぞれ定員が別に決まっているのでしょうか？

A 一般選抜(前期日程)では、理系・文系で定員を分けてはいません。合計得点等をもとに選抜しますので、得意な方の型を選択して受験してください。なお、個別学力検査の問題内容は、理系型でも文系型でも同一です。また、入試の理系型・文系型によって、入学後の学修が縛られることはありません。理系型の入試で入学し、文系の領域を専門とすることもできますし、その逆も可能です。もちろん、専門的な学修を進めるうえで、高校までの内容で不足しているものがあれば、入学後に補習やリメディアルの授業等を履修して学んで行く必要があります。必要に応じて教職員もサポートしていきます。